

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

政策名	4 環境にやさしい港	24年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	企画調整室 環境担当課長
基本施策名	05 人と自然にやさしい港湾環境づくり	事務事業	成果	コスト		
個別施策名	17 良好な港湾空間を維持・創出する	継続	維持	維持	連絡先 連携課	052-654-7819 海務課、工事課、港湾工事事務所
事務事業名	07 港内の水底質のモニタリング				事業 期間	昭和38年度～継続
目的	港内の水質・底質を調査し、港湾水域の環境の現況を把握します。				根拠 法令等	港則法、水質汚濁防止法、 海洋汚染及び海上災害の 防止に関する法律
概要	水域の水および水底土砂の調査を実施します。				実施 義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
平成25年度の 実施予定	直営調査として底層溶存酸素調査を年間12回、委託調査として港内底質調査を年間6回の 実施を予定しています。				関連 シート	

2 DO(実施)

平成25年度に 実施した 内容・結果	直営調査として底層溶存酸素調査を年間12回、委託調査として港内底質調査を年間2回実施しました。							
コスト(年度)	単位	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績)	25(実績見込み)	合計	備考(款項目節等)
事業費 計	千円	0	8,484	7,116	1,575	1,112	18,287	(款項目節) 企画調整費/調査費/環境保全費/委託料 マルチ水質チェック定期点検
一般会計	千円	0	8,484	7,116	1,575	1,112	18,287	企画調整費/調査費/環境保全費/需用費 マルチ水質モニタリングシステム等に係る消耗品
事業会計	千円							企画調整費/調査費/環境保全費/役員費 名古屋港港内底質調査 (算出計算式)
その他	千円							マルチ水質チェック定期点検 59,850円 マルチ水質モニタリングシステム等に係る消耗品 64,365円 名古屋港港内底質調査(港長許可申請用) 987,000 円(2検体) (その他)
人員費 計	千円	21,026	6,022	2,845	1,569	2,206	33,667	
正規職員	人	2.45	0.71	0.33	0.18	0.23		
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05		
合計	千円	21,026	14,506	9,961	3,144	3,318	51,954	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	21	22	23	24	25	中間目標	25	備考(指標の算定方法など)
調査回数(回)	目標	53	39	38	17	18			測定計画等に定められている調査 調査回数(公共用水域水質調査 は、平成24年度から愛知県・名 古屋市が実施)
	実績	51	39	36	15	14			
	達成率(単年度%)	96.2	100.0	94.7	88.2	77.8			
測定計画等に基づく 調査の履行率(%)	目標	100	100	100	100	100		100	実際に行った調査回数÷測定計 画等に定められている調査回数 平成25年度は、予定していた年6 回の港内底質調査内4回は実施 せず
	実績	96.2	100	94.7	88.2	77.8			
	達成率(単年度%)	96.2	100.0	94.7	88.2	77.8			
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-			
平成25年度までを総括した 必要性・有効性・効率性の確認		判断理由 (課題の抽出)						その他特記事項	
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>						名古屋港内の水質の状況については、市民の関心が高くなっています。 港内底質調査は、港長への港湾工事作業許可申請時に必要です。	
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
	本組合が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>						良好な港湾空間を維持・創出することに貢献しています。	
	目標を達成したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>						底層溶存酸素調査については、マルチ水質モニタリングシステムを使用し、 直営で効率的に実施しています。	
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による 今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続 ・ 統合	➡	➡	・底層溶存酸素調査や浚渫工事等にかかる底質調査は、国の指針や港 内工事許可を得る上で引き続き取り組む必要があるため。 ・港内環境の監視に係る事業として統合。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				

引き続き底層溶存酸素調査を実施し、港湾水域の環境の現況を把握します。また、必要に応じて、工事予定箇所の港内底質調査(港長許可申請用)を実施します。